

JEP工法協会 会員

小野田ケミコ株式会社	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21 TEL.03-6386-7035 FAX.03-6386-7022
東興ジオテック株式会社	〒108-0014 東京都港区芝4-8-2 TEL.03-6436-4290 FAX.03-6436-4299
ライト工業株式会社	〒102-8236 東京都千代田区九段北4-2-35 TEL.03-3265-2589 FAX.03-3265-3402
株式会社アウラ・シーイー	〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-18-3 TEL.03-5835-0291 FAX.03-5835-0292
株式会社アクアガード	〒234-0054 神奈川県横浜市港南区港南台9-3-12 TEL.045-832-0166 FAX.045-350-4864
東成産業有限会社	〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町3963-1 TEL.045-937-0961 FAX.045-937-2342
株式会社ニチワ	〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町31-1 TEL.03-3469-4881 FAX.03-3469-6881
林六株式会社	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6 TEL.03-3256-4931 FAX.03-3252-0168
ライオン株式会社	〒130-8544 東京都墨田区本所1-3-7 TEL.03-3621-6671 FAX.03-3621-6557

■ お問い合わせは下記にお願い致します。

JEP工法協会

事務局

〒102-8236 東京都千代田区九段北4-2-35 ライト工業株式会社内
TEL.03-3265-2589 FAX.03-3265-3402

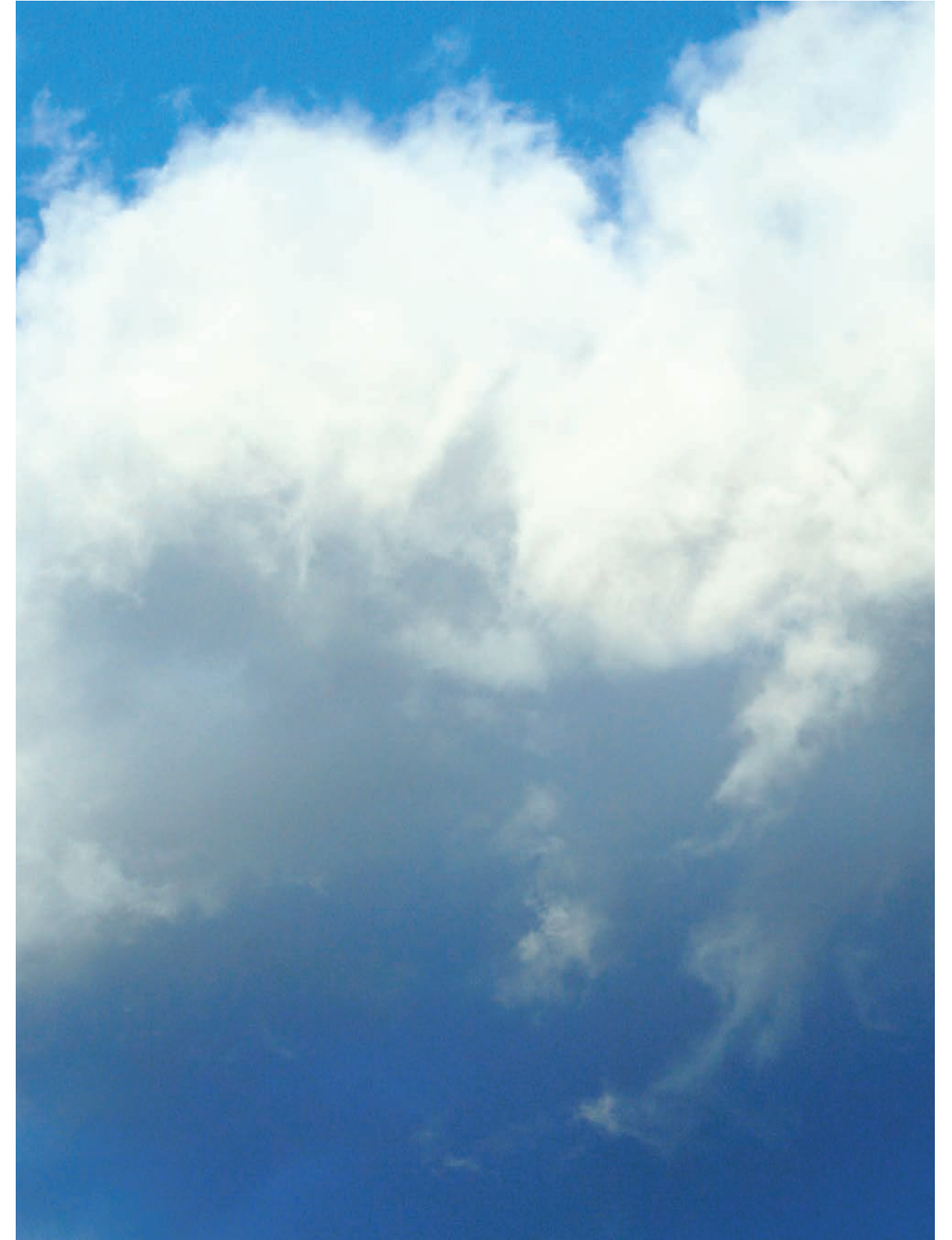


発行 2019年3月
720314_500_TB

JEP工法

JEP工法協会

三重管式大口径高圧噴射攪拌工法 NETIS登録番号 SK-100012-VE



大口徑で経済的・高品質な改良体
 様々な施工条件に適応する高圧噴射攪拌工法

JEP工法

● 特長

1 大口徑の改良体

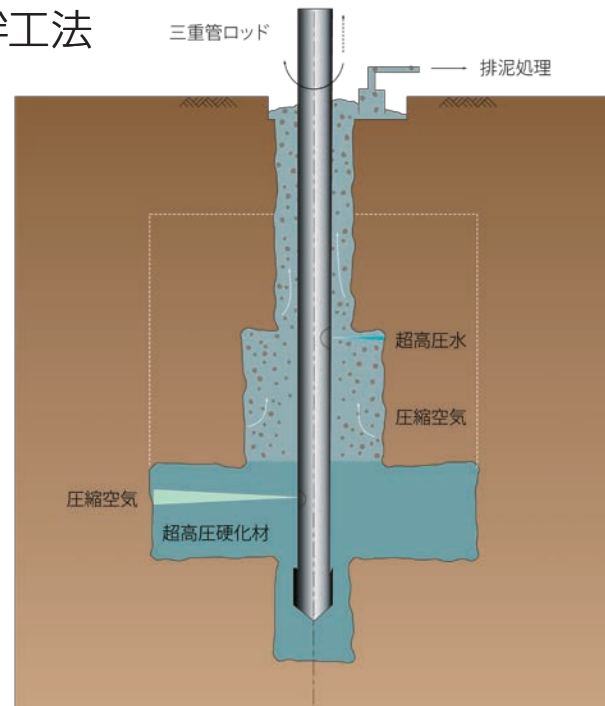
専用の噴射装置および大容量の硬化材噴射 (300L/分) により、大口徑の改良体が造成可能です。(最大φ4.0m)

2 低コスト・工期縮減

大口徑の改良体が造成可能であるため、施工本数が縮減し、コストおよび工期の縮減が可能となります。

3 変位影響の低減

三重管システム (三重管ロッドを用いて硬化材・水・エアを独立して噴射) の適用により、施工時の変位影響を低減することが可能です。

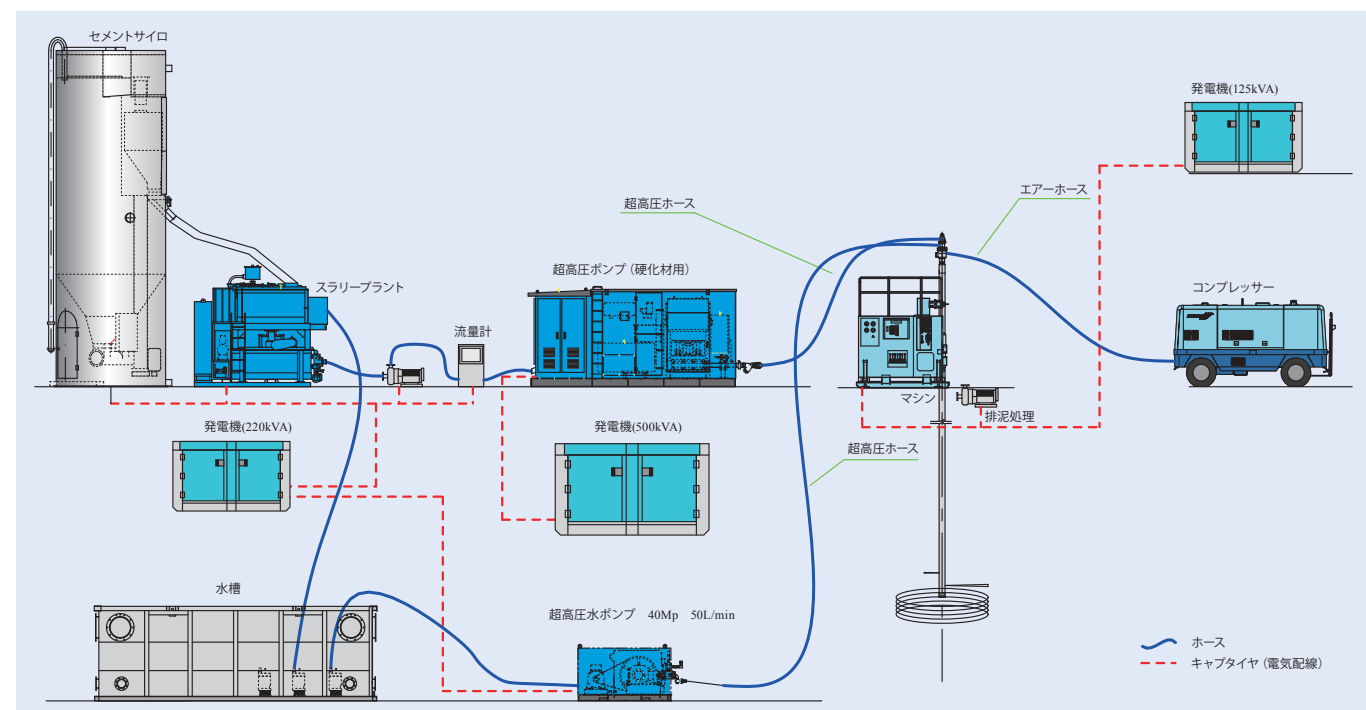


● 噴射仕様

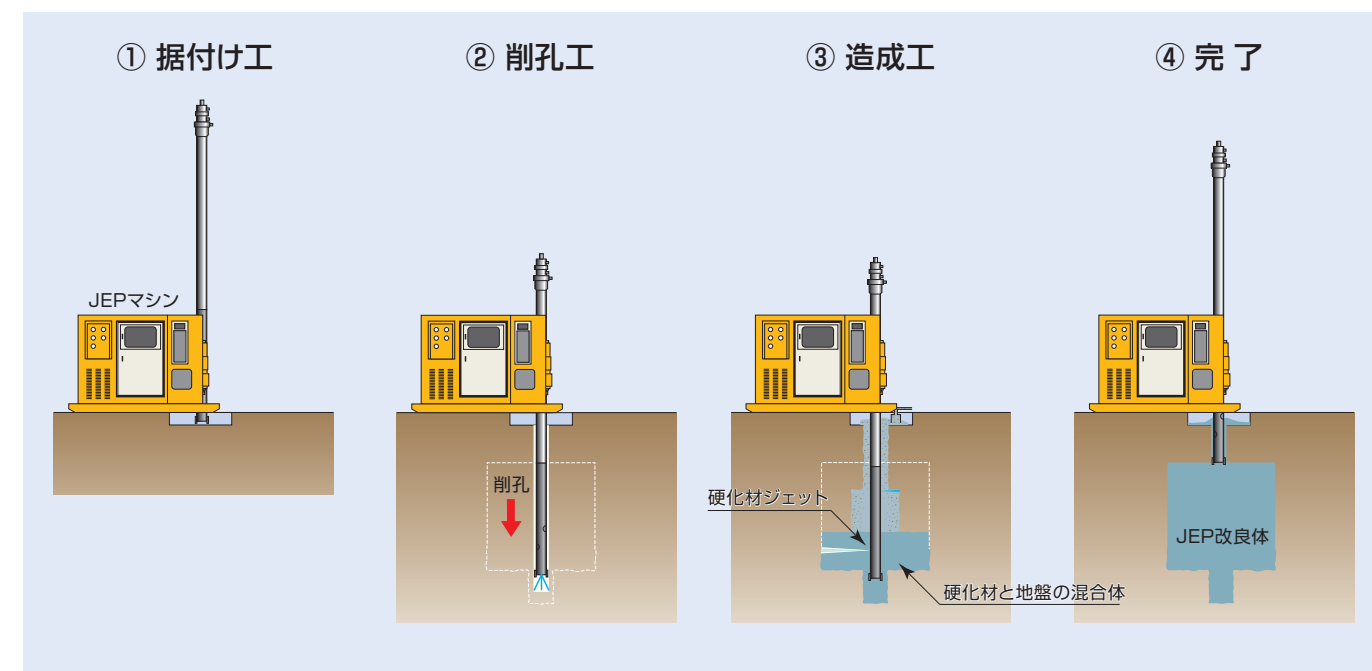
名称	使用材	標準施工仕様	
上段 超高压ジェット	水	吐出圧力	40MPa
		吐出量	50 l/分
下段 超高压ジェット	硬化材	吐出圧力	40MPa
		吐出量	300 l/分
圧縮空気		吐出圧力	0.7~1.05MPa
		吐出量	4~15m ³ /分



● 施工システム



● 施工順序



● 適用条件

適用土質と標準設計有効径

設計引上時間	設計N値 および設計粘着力 c			
	0 < N ≤ 30	30 < N ≤ 50	50 < N ≤ 100	100 < N ≤ 150
	0 < c ≤ 20	20 < c ≤ 35	35 < c ≤ 50	50 < c ≤ 70
13分/m	3.7	3.5	3.2	3.0
16分/m	4.0	3.7	3.5	3.2

● 標準配合

区分	JEP硬化材 (標準用)	JEP硬化材 (低強度)
固化材	760 kg	550 kg
混和材	10 kg	10 kg
水	751 kg	816 kg

※ 固化材の比重値により、水量が変化することがあります。

● 改良体の設計標準数値

硬化材	土質	設計強度 qu (MN/m ²)	粘着力 c (MN/m ²)	付着力 f (MN/m ²)	曲げ引張強さ σ _t (MN/m ²)	変形係数 E ₅₀ (MN/m ²)
JEP硬化材 (標準用)	砂質土	3.0	0.5	1/3 × c	2/3 × c	100 × qu
	粘性土	1.0	0.3			
JEP硬化材 (低強度)	砂質土	1.5	0.3	1/3 × c	2/3 × c	100 × qu
	粘性土	0.5	0.15			

